
魔導戦記LyricaLGIA

k19

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔導戦記LyricaLGIA

【Nコード】

N9716U

【作者名】

k19

【あらすじ】

かつて一つの願いを叶える為に闘い続けた男がいた。だがその願いは叶う事はなかった。男は大切なものを失い、そして償う事の出来ない罪を背負った。記憶も失った男にあるのは「自分の名前らしきものが書かれたペンダント」と「自身の身体に刻みこまれる形で存在するカーGIAー」だけだった

プロローグ（前書き）

皆さん初めまして。この小説の作者の作者K19です

今回初めての投稿という事で凄くドキドキしてます

文章力がない駄目な私ですが、少しでもいい作品になる様に頑張りますのでどうか暖かい目で見守ってくださいたら嬉しい限りです

ではプロローグには入ります

プロローグ

実在する全ての物を含む無限の投稿空間―世界―

幾千、幾万の人間がその中で生きている

共に笑い、共に泣き、時に争う

それが世界の姿であり人の形である

そんな世界の中で俺は一つの願いを叶えるために戦い続けた

だが????叶う事はなかった

死んでいく人達、壊れていく世界

そして????

青年が立っていた

二十歳前半ぐらいだろうか。ボサボサの黒髪を腰まで伸ばし、異常と言っていいほどの傷跡がある身体に身に着けているのは黒い長ズボンだけ
そして????あるはずの左腕が最初から無いかの様に肩からなくなっていた

その姿だけでも異様なのだが青年の状態が更に異様さを出していた

青年は気絶した状態で立っていたのだから???

「????うう?????」

青年の赤い瞳に光が戻る

何処か遠くにいた様な感覚だった

頭が回らない。自分は何をしていた?

そう考えた所で、

「!？」

頭が覚醒し、働かせる

―俺は確か―

青年は下げていた顔をあげた。そしてその瞬間――頭が停止した
なぜなら????

身体がバラバラになった五歳ぐらいの少年の遺体が散らばっており、
血の海を作っていたのだから

「なん????????で」

右手で口を抑え、混乱する

こいつはさつきー

と、考えた所である一つの違和感に気づく

口辺りに感じる生温かい感触。鼻から感じる鉄の臭い
恐る恐る右手を見てみると、

右手が血の色に染まっていた。いや、右手だけでなく身体全身が赤
色に染まっていたのだ

「????ああ????あああ????あああ????ああああああ
あああ????」

右手が震える

呼吸が出来ない

心臓の鼓動が激しくなる

だから???願った

その願いは誰もが聞けばこう言うだろう

「絶対に無理」だと

だが、それでも俺は願った。願い続けた

俺が唯一、心の底から願った事だから

―神になる―

その願いこそが俺の罪だと知らずに???

ブログ（後書き）

いかがだったでしょうか？

まだまだ経験不足ですがこれから頑張っていくと思います

それではまた次回に！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9716u/>

魔導戦記LyricaLGIA

2011年10月9日11時32分発行